

「子どもをもっとほめましょう」といわれても、
うまくできなかつたり、その余裕がなかつたり。
そんなとき、まずは「見たこと」を言うだけで大丈夫。
「ブロックで遊んでるんだね」なんて言うと
「見てくれてるんだ！」と大切に思われていることにうれしくなるもの。
「子育てで困ったらこれやってみ！」保育士・子育てアドバイザーてい先生著



子どもは叱っても、言うことを聞かないことが多いですよ。
それどころかママもイライラするし、子どもも不機嫌になるので
きょうだいげんかが始まったり、余計叱られるようなことをして、
ますます叱る材料が増える悪循環に！
叱りたくないのに、また今日も叱ってしまった…と反省したり。

叱るよりほめると育児書に書いてあるけど、
どうほめればいいのか分からない
ほめる所が見つからない…



ほめよう、ほめなくちゃと構えると、ほめるのが難しく感じられるようです。
ちょっとやり方を変えて

“できて当たり前”になってることを言ってあげてみてください。

「自分でお着替えしたね」

「お片付けできたね」

できない所を見るのではなく、できてる所を見て言うだけで、
子どもの反応が変わる事があります。

結果でなく、努力してる途中で注目するのがコツです。

上手にできなくて、やる気をなくしたときにも

「ここまで頑張ったね」と言う

もう少し頑張ろうと、やる気が出ることもあります。

そんな時は「途中であきらめないで頑張ったね！」と言うと

きつと最高の笑顔を見せてくれることでしょう！